

令和 7 年度

運営に関する計画

大阪市立加島小学校

大阪市立加島小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

- 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」と「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合は、全国平均をやや下回った。また、「大阪市教育振興基本計画改定に係る児童生徒アンケート」では、「あなたは、どのような学校に行きたいと思いますか」に対して「みんながながながよい」「いじめがない」と回答した児童の割合が高かった。
- 令和6年度の本市調査において、「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、「3時間以上」と回答する児童の割合30%で、大阪市平均を大きく上回った。
- 不登校については、教職員が様々な児童の実態に対応しながら、保護者と丁寧に連携し、安心して登校できる環境づくりを行い、一定の成果が見られた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和6年度「小学校学力経年調査」における国語および算数の平均正答率の対市比は、同一母集団において令和5年度と比較し、4～6年生のいずれの学年も、前年度より1ポイント向上させるという目標に到達しなかった。だが、ポイントが向上した学年もあり、きめ細やかな指導の成果が見られた。
- 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の「学力に課題の見られる児童の割合」は、国語科が35.4%（本市平均27.2%）、算数科が28.8%（本市平均21.8%）であった。どちらも令和5年度の結果よりも大きな改善が見られたが、市平均とはまだ差がある。
- 令和6年度「小学校学力経年調査」の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に、最も肯定的な「好き」と回答する児童（3～6年生）の割合は70%で、目標の80%以上に到達できなかった。だが、様々な運動に親しむ週間や、体育の授業、休み時間の鉄棒等の外遊びに、意欲的に参加する児童が多く、令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、男女ともに全国平均値を2年連続上回った。

【学びを支える教育環境の充実】

- 全市共通目標の「学習者用端末を活用した学習を週3回以上（60%以上）実施する」については、12月の月間使用率が平均76.6%となり、年度目標を達成した。
- 教職員の時間外勤務時間については、令和5年度と比較し、各月約計125分減少させることができた。
- 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に「1日10分以上（1週間で70分）～1日2時間以上」と回答した児童の割合は49%（市平均57.6%）、「全く読まない」と回答した児童（3～6年生）の割合は31.4%（市平均24.1%）となり、「週に1時間以上の読書習慣の定着をめざす」について課題がみられた。

I 学校運営の中期目標

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度「小学校学力経年調査」の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。
- 令和7年度の本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSMS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、「3時間以上」と回答する児童の割合を25%以下とする。
- 令和7年度「小学校学力経年調査」の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を73%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度「小学校学力経年調査」における「学力に課題の見られる児童の割合」を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も、国語科・算数科ともに1ポイント減少させる。
- 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、体力合計点対全国の平均値を上回る割合（1.00）以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上とする。
- 第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を98%以上とする。

【基準2】

- ① 1年間の時間外勤務時間が720時間を超えない
- ② 1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を1年間で6月まで
- ③ 1か月の時間外勤務時間が100時間を超えない
- ④ 連続する複数月（2か月、3か月、4か月、5か月、6か月）のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の1か月あたりの平均が80時間を超えない

- 令和7年度「小学校学力経年調査」の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度「小学校学力経年調査」の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。
- 令和7年度の本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、「3 時間以上」と回答する児童の割合を 25%以下とする。
- 令和7年度「小学校学力経年調査」の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 73%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度「小学校学力経年調査」における「学力に課題の見られる児童の割合」を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も、国語科・算数科ともに 1 ポイント減少させる。
- 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、体力合計点对全国の平均値を上回る割合（1.00）以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 75 %以上とする。
- 第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を 98 %以上とする。

【基準2】

- ① 1 年間の時間外勤務時間が720時間を超えない
 - ② 1 か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を 1 年間で6月まで
 - ③ 1 か月の時間外勤務時間が100時間を超えない
 - ④ 連続する複数月（2か月、3か月、4か月、5か月、6か月）のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の 1 か月あたりの平均が80時間を超えない
- 令和7年度「小学校学力経年調査」の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 66%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（全市共通目標を含む）	達成 状況
<p>【最重要目標Ⅰ 安全・安心な教育の推進】</p> <p>「基本的な方向Ⅰ 安全安心な教育環境の実現」より</p> <p>○令和 7 年度「小学校学力経年調査」の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上（令和 6 年度 81%）にする。</p> <p>○令和 7 年度の本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、「3 時間以上」と回答する児童の割合を 25%以下とする。</p> <p>○令和 7 年度「小学校学力経年調査」の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 73%以上（令和 6 年度 72.7%）にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【2 豊かな心の育成】</p> <p>●一人ひとりの違いを認め合う集団を作る。</p> <p style="text-align: right;">（多文化共生教育の推進）（いじめへの対応）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・障がい、国際、性自認などを取り扱った授業を各学年で年間 1 回以上実施する。</p> <p>・いじめアンケートにおいて「いじめたことがある」「いじめられたことがある」と回答した児童について、その後 100%の解消を目指して継続指導を行う。</p>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>●児童の良いところや達成できたところを見つけて認められる、自己有用感を高める。</p> <p style="text-align: right;">（人権を尊重する教育の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・アセス調査にかかわる研修会を年 1 回以上開催し、調査結果を有効活用する。</p> <p>・児童理解研修会を年 2 回以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>●児童の発達段階に応じた健康に関する指導を推進し、日常より基本的な生活習慣について徹底するように取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（健康に関する現代的課題への対応）</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活チェックカードを年間３回することで基本的生活習慣の定着をはかり、保護者アンケートの「ゲームやスマートフォンを使う時間について」の項目で、「使う時間が決まっている」と肯定的な回答する保護者の割合を昨年度より上昇させる。 ・毎月２０日はノーメディアデーを設定する。 ・学校保健委員会において、児童の早寝早起きの意識を高める。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度へ向けての改善点</p>	

大阪市立加島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（全市共通目標を含む）	達成 状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和 7 年度「小学校学力経年調査」における「学力に課題の見られる児童の割合」を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も、国語科・算数科ともに 1 ポイント減少させる。</p> <p>○令和 7 年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、体力合計点对全国の平均値を上回る割合（1.00）以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<p>取組内容④【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>●学力向上に向けて授業力向上に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（「主体的・対話的で深い学び」の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に関わる研修会を年間 5 回以上実施する。 ・学力向上支援チーム事業を通して一人一回授業を公開する。 ・学習指導や学級経営に関する書籍を共有して活用する場を作る。 	
<p>取組内容⑤【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>●子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（言語教育・理数教育の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を対象としたアンケートで「漢字の練習に取り組むことで、漢字に自信が持てるようになった」という質問に肯定的回答する児童の割合を 80%以上にする。 ・さみどりタイムで「自分の課題に対して成果を感じることができた」と回答する児童の割合を 70%以上とする。 	
<p>取組内容⑥【5 健やかな体の育成】</p> <p>●児童の体力・運動能力の向上に向けて、運動・スポーツに楽しく参加できる学校行事、各種取組を実施し、運動やスポーツに親しむ機会を増やす。</p> <p style="text-align: right;">（子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会以外に体育的行事を年間 1 回以上実施する。 ・校内アンケートの「運動をすることが好きである」の項目の児童の肯定的回答率を 80%以上にする。 ・体の動きを高める運動を体育の授業等で取り入れ、立ち幅跳びの平均記録を全国平均 	

以上になることを目指す。	
<p>取り組み内容⑦【５ 健やかな体の育成】</p> <p>●食に関する正しい知識と望ましい食習慣を児童の発達段階に応じて身につけるように取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（食に関する指導の充実）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する授業を各学級年間２回以上行い、望ましい食生活の意識を高める。 ・各学級において、給食日より発行の際に内容の紹介を行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度へ向けての改善点	

(様式2)

大阪市立加島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標(全市共通目標を含む)	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上とする。</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を98%以上とする。</p> <p>【基準2】</p> <p>① 1年間の時間外勤務時間が720時間を超えない</p> <p>② 1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を1年間で6月まで</p> <p>③ 1か月の時間外勤務時間が100時間を超えない</p> <p>④ 連続する複数月(2か月、3か月、4か月、5か月、6か月)のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の1か月あたりの平均が80時間を超えない</p> <p>○令和7年度「小学校学力経年調査」の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑧【6 教育DXの推進】</p> <p>●一人一台端末を効果的に授業で活用する。</p> <p>(ICTを活用した教育の推進)</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>・教員全員が、校内外で開催されるICTを活用した授業実践にかかる研修会、実践発表会に年間1回以上受講する。</p> <p>・日々の「心の天気」の入力を、学習者端末により出席者の80%以上行う。</p> <p>・学習者用端末を活用した授業、教材研究をICT支援員に相談、活用して実施する。</p>	
<p>取組内容⑨【8 生涯学習の支援】</p> <p>●読書環境の充実を図り、読書習慣の定着を図る。</p> <p>●読書タイム、読み聞かせ活動の充実を図る。</p> <p>(学校図書館の活性化)</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>・図書室や教室の読書環境を年間2回(夏季・冬季休業期間)見直す機会を設ける。</p> <p>・個人の目標読書量(読書手帳を活用)を設定し、その達成を70%めざす。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度へ向けての改善点